

登録コード	HM122100	開講年度	2026			
授業題目	精神医学特論				担当教員	鷲塚 伸介 他
英文授業名	Psychiatry				副担当	本田 秀夫
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	該当					
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄				(授業の達成目標)	
	2026HM医学分野加, 2025HM医学分野加, 2024HM医学分野加, 2023HM医学分野加					
	【専攻】医学・保健学研究において基礎・応用・臨床の枠を越え、課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力 ⇄				精神医学を概括して説明できるようになる。	
(2)詳細 /Detailed information	「精神を病むということはいったいどういうことなのか」という根源的な問いから始めて、人の正常心理、異常心理を把握したうえで、精神疾患の実際を理解することが目的である。					
(3)授業の概要 /Overview of course	精神医学の基本である異常心理学と精神病理学について講義を行い病的精神現象を理解する。各論として、代表的な精神障害・発達障害について講義し、精神医学の概要を把握する。受講生と随時ディスカッションを行い理解を深める。					
(4)授業計画 /Course plan	オムニバス方式 1、 クルト・シュナイダーの「臨床精神病理学」を基に講義をおこない、精神病理学の基礎を学ぶとともに、異常精神現象を理解する。【鷲塚伸介/第1回～第10回】 2、 神経発達障害群を中心に児童・思春期によくみられる障害について講義を行い、その基本知識を理解する。【本田秀夫/第11回～第12回】 3、 代表的な疾患である統合失調症、気分障害、器質性精神障害について講義を行う。【鷲塚伸介/第13回～第15回】					
(5)成績評価の方法・基準 /Grading/evaluation method/evaluation criteria	全ての授業終了後に、授業の内容に関連したレポートの課題を与える。 異常心理学、精神病理学の基本的な専門用語や概念を知っており、精神現象や精神障害を説明する際にどの用語や概念がふさわしいか理解していることをレポートで検証する。レポートの採点基準は以下のとおり。 精神病理学について理解できていれば可、神経発達障害群にまで理解が広がっていれば良、さらに精神障害の説明ができれば優を与える。それらの理解が専門医と同等以上と判断できれば秀とする。					
(6)履修上の注意・事前事後学習の内容・テキスト・教材・参考書/Notes/Prep and review work/Textbook(s)/Reference work(s)	パソコンを用いてレポートを作成し、メールを用いて提出することが可能な環境を準備すること。 参考書は授業で随時紹介する。従前の講義と連関させて授業を行うので、復習を欠かさないこと。					
(7)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	オフィスアワー 毎週火曜日12：15～13：00					
(8)授業の形式 /Course format	講義形式。ただし概念の説明だけにとどまらず、それが臨床や研究の場でどのように使われるのかを踏まえた講義を行い、その後受講生とディスカッションを行う。					